

タカサブロウ と アメリカタカサブロウ

タカサブロウとは、ずいぶん変わった名前ですね。タカサブロウは、田んぼの畦（あぜ）等に生えるキク科の一年草で、夏に目立たない白い花が咲きます。最近同じ仲間のアメリカ原産の帰化植物であるアメリカタカサブロウが目立つようになりました。両者は大変よく似ていますが、タカサブロウは果実の周りに翼のような「ひれ」がつくので見分けられます。

タカサブロウは墨斗草（ぼくとそう）という別名があります。墨斗とは墨壺（すみつぼ）のことで、茎を切って紙に文字を書くと、はじめは何も見えませんが、しばらくすると黒く変わるからついた名前です。

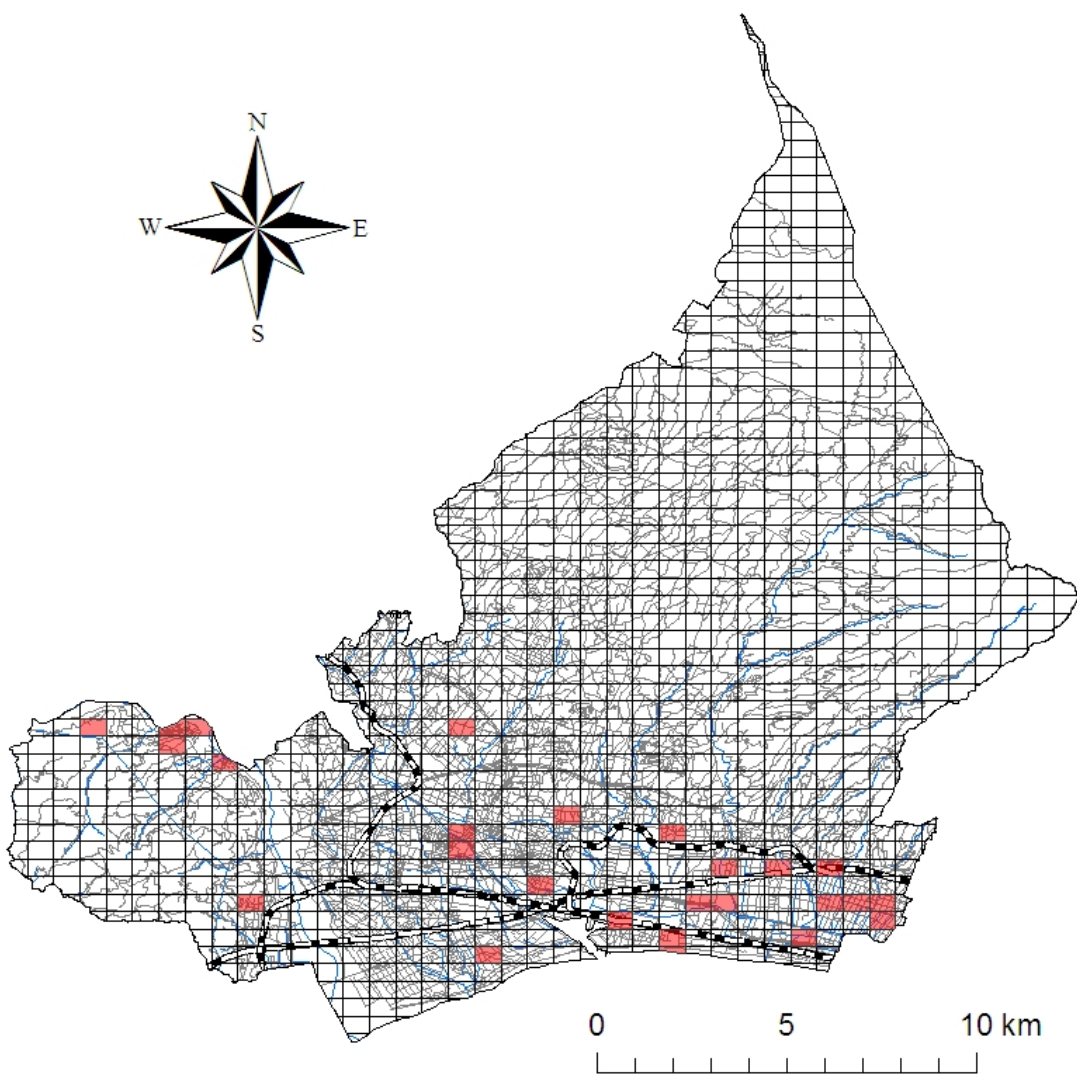
タカサブロウ



アメリカタカサブロウ



タカサブロウを確認したメッシュ



アメリカタカサブロウを確認したメッシュ

